

えちぜん 議会たより

vol.
74
2023.11.1



越前町

人と技
海土里織りなす
快適なまち



稲刈り（陶の谷保育所）

目次

9月定例会報告	2P~3P
議員8人が一般質問	4P~11P
決算認定	12P~13P
現場踏査 要望活動・町村議会広報研修会	14P
出欠状況・感謝状贈呈・表紙の写真	15P
がんばってます！・編集後記	16P



秋の自然探し

専決処分の承認

補助災害復旧事業

223万3千円

大雨により被害を受けた町道の復旧に係る設計委託料を計上する。

道路維持補修事業

2,190万円

大雨により被害を受けた町道の復旧に係る修繕費等を計上する。



町道広野・櫻津線

農業用施設等災害復旧事業

1,130万円

大雨により、被災した農地・農林業施設の復旧のための測量および応急工事に係る費用を計上する。

簡易水道施設管理事業

970万円

大雨により、布殿浄水場水源地に流入した土砂等の撤去処分および管理道路復旧に要する費用を計上する。



布ヶ滝取水口管理道路

条例

越前町越前地域福祉センター条例等の一部改正

施設設備の長寿命化および経費削減を目的に条例等の一部を改正する。

指定管理者の指定

民間のノウハウを活用し、地域の活性化等を図るため、町が所有する施設「悠久ロマンの杜」の指定管理者に(株)オーデオテクノニカフクイを指定する。

補正予算

ひとり親家庭習い事支援事業

100万円

県の補助を受け、ひとり親家庭の子どもへの学習塾以外の習い事の費用の一部を補助する。



結婚支援事業

590万円

国・県の補助を受け、若い世代の新生活のスタートアップ等に係る費用の一部を補助する。



農業経営継続支援事業補助金

950万円

国の補助を受け、町内に住所を有する農家に対し、土地利用型作物(水稲、麦、大豆等)の生産費用の上昇分の一部を補助する。



「えちぜんちよう割」発行

3,000万円

国の補助を受け、エネルギー価格・物価高騰対策として「えちぜんちよう割」を発行し、町内小規模店舗等を支援する。



二次交通対策事業

200万円

県の補助を受け、北陸新幹線開業による観光客の利便性を図るため、広域定額タクシーを導入する。

人事

人権擁護委員候補者の推薦について

次の方々の、推薦について適任であり、全会一致で同意した。

山下 三紀代 氏(小樟)
向當 淳 氏(江波)

発議

保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の提出について

よりよい保育を！福井県実行委員会から、一人ひとりの子どもの豊かな育ちと安全な生活を守るためには、保育士配置の最低基準の引き上げと保育士の処遇の抜本的な改善が必要であることから、国に対して、保育士配置の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める意見書の提出依頼があった。

本町において、子どもたちの安全と健やかな成長を支えるためには、質の高い保育サービスの提供と保育の担い手の確保が非常に重要であることから、賛成多数で可決した。



9月定例会に提出された議案等

■全会一致した議案

議案番号	件名	議決の結果
報告第6号	令和4年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	報告のみ
報告第7号	令和4年度決算に基づく資金不足比率の報告について	〃
承認第13号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度越前町一般会計補正予算(第5号))	承認
承認第14号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度越前町一般会計補正予算(第6号))	〃
承認第15号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号))	〃
承認第16号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度越前町温泉事業特別会計補正予算(第1号))	〃
承認第17号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度越前町一般会計補正予算(第7号))	〃
議案第43号	越前町越前地域福祉センター条例等の一部改正について	可決
議案第44号	公の施設の指定管理者の指定について(悠久ロマンの杜)	〃
議案第45号	令和5年度越前町一般会計補正予算(第8号)	〃
議案第46号	令和5年度越前町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第47号	令和5年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議案第48号	令和5年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第49号	令和5年度越前町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	〃
同意第24号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
同意第25号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃

■賛否が分かれた議案 (賛成：○ 反対：× ※議長は採決に加わりません)

議案番号	件名	議決の結果	小松議員	吉田議員	石田議員	長谷川議員	中西議員	高田議員	藤野副議長	米沢議員	佐々木議長	伊部議員	笠原議員	木村議員	北島議員
請願第1号	保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の採択を求める請願	賛成多数採択	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○
発議第3号	保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の提出について	賛成多数可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○



一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



高田 浩樹 議員

いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



吉田 憲行 議員

部活動の地域移行について ―越前町型移行―

準備委員会設置の進捗度は

吉田

令和4年9月定例会で越前町における教員の働き方改革と部活動の地域移行について、一般質問が行われ、学校関係者や関係団体の代表者で組織する準備委員会を設置し意見を集約するとあったが、準備委員会の設置について、進捗度合いを伺う。

教育委員会事務局長

休日の部活動の段階的な地域移行を進めるため、昨年10月に準備委員会を立ち上げ、協議を行っている、本年8月中旬には保護者、児童・生徒を対象に、地域移行についてのアンケートを実施し、現在、結果を取りまとめている。今後は、関係者で組織する部活動地域移行検討委員会を9月中旬に設置し、今回のアンケート結果や昨年7月に県が実施したアンケート結果などを踏まえながら、休日の部活動の段階的な地域移行に向けて取り組んでいく。

吉田

町の中学校トータルの部活は、野球部、卓球部男女、ホッケー部男女、バレー部男女、ソフトテニス部男女、剣道部男女、吹奏楽部、

美術部 陶芸部で、運動部11、文化部3種類である。民間クラブへの部活の地域移行の越前町型として、部活に関して、町内4中学校の部活を統合して、学校という立場で民間クラブを設立し、運営していくことはできないのか。

教育長

学校という立場で民間クラブを設立することはできないが、4中学校の部活動を統合して運営できる受皿となる団体や指導者が確保できれば、施設を活用するなど、学校と連携しながら運営することは可能であると考えます。町としても、4中学校それぞれの地域移行には4つの受皿となる団体や、最低4人の指導者が必要となり、その確保が困難な場合、また、部員数の減少が見込まれる場



小中学校再編について

進捗度合いは

再編の進捗度合いは

吉田

現時点の小・中学校の再編統合の日程、方策について

教育長

当初の基本方針(案)では、朝日小学校と常磐小学校の再編は、令和6年度としていたが、期間的にも再編は困難であるため、令和7年度以降の再編に向けて引き続き協議を重ねていく。また、朝日小学校と糸生小学校の再編は、当初令和11年度としていたが、状況によっては前倒しを検討することも含め、協議を進めていく。四ヶ浦小学校と城崎小学校の再編は、当初令和9年度としていたが、地区説明会等において前倒しを希望するご意見が多く、8月31日に再編準備委員会を設置し、令和7年度の再編を目標として協議を開始している。織田小学校と萩野小学校の再編は、当初の令和8年度を目途に、来年度には再編準備委員会を設置し、協議を進めていく。中学校については、当初は令和13年度以降に宮崎、越前、織田中学校3校の再編の検討を始めることとしていたが、地区説明会等において、こちらも前倒しを希望するご意見が多かったため、今年度、中学校再編検討委員会を設置し、協議を進めていく。

生命と健康を守る暑さ対策について

熱中症に関する傾向は?

高田

本町の熱中症に関する近年の傾向と見解を伺う。

総務理事

本町における熱中症疑いによる救急搬送者数は、近年(10年間)の年平均で12人である。本年度は、最も多い18人(屋内発症者数11人)である。本年のような極端な高温が発生した際には、自宅で過ごす時間が長い高齢者を中心に、熱中症患者が増加傾向にある。

エアコンの活用は?

高田

公共施設におけるエアコンの活用について伺う。

総務理事

公共施設での夏季のエアコン運用については、国の基準に従い、各施設の室内温度を28度以下で保つよう努めている。センサーが感知する温度と体感温度が異なる場合、設定温度や風量などを適宜調整し、適度な室温になるよう柔軟にエアコンを

活用している。

高田

熱中症予防の観点から、引き続き柔軟なエアコンの活用を要望する。

エアコンの整備や点検等に関する助成は?

高田

高齢者や低所得者世帯に対して、エアコンの整備や点検などの助成を検討しているのかどうかについて伺う。

民生理事

高齢者世帯や低所得者世帯に熱中症対策を目的とした、エアコンの整備、点検等の費用に対する助成については、県内で実施している自治体はなく、現時点では検討していない。

高田

町民の「生命と健康を守る」という観点から、熱中症対策にエアコンの活用が重要である。県内自治体に例がないから、



本町で検討もしないということではないと考える。

熱中症予防の情報提供は?

高田

熱中症に関する予防や対応などの情報提供、普及啓発、意識の醸成などの取り組みについて伺う。

民生理事

子育て支援センターの発行する機関紙、小中学校での保健だよりに熱中症の予防対策を掲載し、子どもや保護者に対して、暑さ対策に関する周知を図っている。高齢者世帯や低所得者世帯には、民生委員・児童委員による熱中症予防の声かけ活動やチラシ配布などを実施している。また、気がかりな高齢者に対しては、在宅介護支援センターが熱中症予防の注意喚起および健康確認を行っている。

課題と今後の展開は?

高田

今年、改正された「気候変動適応法」に基づき、「熱中症対策実行計画」が閣議決定されたが、これらのことも踏まえ、本町における暑さ

対策の課題と今後の展開を伺う。

町長

熱中症対策の課題としては、エアコンの適切な利用等の予防行動の必要性が十分に浸透していないこと、関係分野が多岐にわたることなどが挙げられる。国の「熱中症対策実行計画」では、熱中症に関する意識を高め、熱中症予防行動を実践し、日頃から熱中症に対する備えを万全とすることで、対策の一層の強化が図られるとされている。

本町では、従来の取り組みに加え、普及啓発や意識醸成のための呼びかけ、暑さを避ける場所の利用促進など、住民への働きかけを行っていく。特に子どもや高齢者などに対しては、各関係機関との連携を強化し、見守り・声掛けを行う体制を整え、熱中症対策の先進的な事例などを参考に庁内の連携を図っていく。





一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



伊部 良美 議員

いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



中西 清 議員



女性職員の管理職登用について

管理職登用状況は

男女雇用均等法では、募集、採用から配置、昇進、退職に至るまで、全てのアクションとして、次の6つの取組目標を提言している。

- 1、男女均等な待遇の確保
- 2、女性の勤続年数の伸長
- 3、職場の雰囲気、風土の改善
- 4、女性採用拡大
- 5、女性の職域拡大、管理職の増加
- 6、多様な働き方の確保

町総合振興計画において男女共同参画社会の推進を掲げているが、支援、推進する立場の町自体が遅れていると考える。例えば、女性職員の管理職登用が非常に少ない。一般職における男性職員と女性職員の数、理事、課長、室長、補佐など、管理職ポストの数と女性の登用状況を伺う。

町長

令和5年4月1日現在、職員数（労務職員を除く一般職員数）は231人で、男性が128人の55.4%、女性が103人の44.6%である。管理職（課長補佐を含む）の職員は、82人で、理事級7人、課長級22人、課長補佐級53人であり、女性職員の登用状況は、課長級4

人、課長補佐級21人の合計25人で、管理職全体の30.5%となる。

職員の能力発揮の取組みは

女性の能力発揮には、女性の積極的な登用、研修制度の充実、昇進・昇格などが重要である。能力発揮に向けた取組みは。

町長

取組みとして、県自治研修所で実施される新規採用や年齢別、役職に応じた研修に対象者全員が参加している。また、選択研修として、職員個々のスキルアップのためのパワーアップ研修の受講希望を募っている。全国の自治体職員を対象とした市町村アカデミーや自治体大学校への長期研修のほか、必要なスキル向上のための専門的な研修にも参加している。令和4年度の職員の研修参加状況は、19の研修に延べ95人が参加し、そのうち45人、47.4%が女性職員であった。課長級、課長補佐級への昇任試験の受験については、受験資格を満たしている対象者に通知する際、所属長を通じて、男女を問わず積極的な受験を促している。

梅浦川の氾濫の対策と河口の土砂について

梅浦川の氾濫の対策は

7月13日の大雨による被害に対し、町として今後どのように取組み、対応策を講じていくか。特に、梅浦川の氾濫で国道365号が閉鎖されたことに、今後どのような対策をするのか。

建設理事

大雨により、町道の法面や路肩の崩壊が43箇所、町管理河川の土砂および流木の堆積が10箇所発生したが、早急な復旧作業に取組んでいる。梅浦川の氾濫による国道365号の冠水被害の対策については、県、区ならびに町で現場の検証を行い、今後の対策について協議検討を進める。

河口の土砂については

伊部

剣神社周辺の川の幅員が狭く、S字に蛇行しているため、流れが悪く川の水が溢れる状態である。町としてどう考えるか。また、河口に土砂がたまると、川の流れが止まり、水が腐敗する。町として、県に早急に対応策を要請するのか。

建設理事

越水対策が必要と考えており、



▲梅浦川

令和4年度には、梅浦多目的集会所施設付近の右岸の嵩上げを実施し、今後においては、河川断面の確保による対策を計画している。また、河口付近の水が腐敗することについては、区と協議し、淀みの解消について県に依頼していく。

梅浦川の改修工事は

伊部

トンネル工法で解消できないのか。河川のトンネル化は、有効な対策のひとつであると考えられるが、河川砂防技術基準によると、トンネル構造による河川は、地形の状況やその他の特別の理由によりやむを得ない場合に限り、設けるものとされている。また、莫大な費用を要する河川のトンネル化は極めて困難であるため、河川断面確保による対策を進めていく。

マイナンバーカードの問題について

カードの交付率などについて

マイナンバーカードの交付率は、および登録に伴うミスは。

町長

令和5年7月末現在の交付率は、81.34%で全国の交付率より6.3ポイント高い交付率である。登録に伴うミスは確認されていない。

中西

共同通信社の自治体アンケートの回答は。

町長

制度の是非について私見を述べたことは時期尚早と考え、回答を控えた。

中西

健康保険証廃止について、反対や不安の声が多い。町としての考えは。

町長

広報やホームページを通して、保険証利用のメリットをPRしながら、住民の理解が得られるよう努めていく。

カード普及推進や課題については

中西

マイナンバーカードの普及推進策や課題・問題点について、町長

の所見を伺う。

町長

町独自の普及推進策として、町商品券や越前焼をプレゼントするキャンペーンのほか夜間や休日窓口、出張申請、イベントなどでの臨時窓口の開設などを行った。その他、令和4年12月から令和7年3月末まで諸証明のコンビニ交付手数料の減額を行っている。

課題の1つ目は、カードの申請をした方でカードを受け取りに来ていない方が多い。再度受け取り勧奨の通知や、広報やホームページ等で周知を徹底していく。2つ目は、令和6年度以降に、電子証明書の更新等に伴う窓口来庁者の増加が予想されることから、今後マイナンバーカードを利用した窓口申請書の自動作成システムの導入を予定している。町としては、今後町独自の



越前一織田線の県道改良の促進は

越前一織田線の県道改良の促進は

道路が異常気象などの豪雨に対し、対応しきれなくなっていると考えるが、町の考えは。

建設理事

平成8年の県道への昇格後、平成13年度から平成21年度にかけて法面の吹付工事や落石防止工事、狭隘区間の拡幅工事が施工されたことにより、安全性の向上が図られた。県では、平常時における道路パトロールや定期的な道路防災点検を行っている。町としては引き続き適正な維持管理を求めている。

伊部

道路の使用量は年々増えてきており、災害に対してもっと強靱化すべきと考えられるが、中途からのトンネルを掘る考えについて伺う。

町長

トンネルの整備については、法面崩壊区間を回避する線形で県に要望している。しかし、国道305号道口〜梅浦間の計画策定および着工や、高佐〜白浜間の道路改良の着手など、優先される道路事業が多く、新規の事業採択は難しい状況にあるが、今後も県に対して要望を継続していく。

原子炉の再稼働について

原子炉の再稼働について

伊部

老朽化した40年超の原子炉が再稼働になると、何時の時点でも危険性ははらんでおり、町の漁業関係者にとって死活問題に発展し、打撃を受けるものと考えられる。そんな意味も含め、国の施策である原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金について、町長の所見を伺う。

町長

原子力稼働における安全性については、これまでと同様に、福井県原子力環境安全管理協議会の委員として、立地市町とともに、原子力発電所の安全確保および周辺環境への影響を注視し、町民の安全・安心な生活環境を最優先に確保していく。また、原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金は、電源三法に基づく交付金であり、原発の再稼働に際して、1発電所につき2.5億円が立地の県および市町に交付されるものである。町としては、準立地地域における新たな振興制度の創設など、準立地市町連絡協議会とおして国や県に働きかけていく。



一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



木村 繁 議員

町長 県内の「田んぼダム」の実態については、令和4年度末までの県全体の取組み面積は、1,855ヘクタールで、その9割近くが鯖江市である。鯖江市のほか県内5市町で調整板の設置など、県の助成制度を活用

町長 町には1か所の上水道と3か所の簡易水道があるが各地区の配管の長さや管の材質は？

木村 相次ぐ水害を受け、水田に水をためて河川の急な増水を抑える治水手段「田んぼダム」が全国に広まっており、農林水産省は、2025年までに、10万ヘクタール以上の確保を目指している。田んぼダムは、様々な治水手段を組み合わせる流域治水のついで、水田の貯水量を増やす調整板が必要であるが、ダムや堤防の新築と比べて低コストで設置できることが利点である。福井県内では、2004年の福井豪雨を契機に注目され、福井県では、調整板の設置費用の補助金を予算計上し、農家の取組みを後押ししている。県内における「田んぼダム」の実態ならびに町における方向性、推進していく場合の方策等について、町長の所見を伺う。



町長 町長 町には1か所の上水道と3か所の簡易水道があるが各地区の配管の長さや管の材質は？

「田んぼダム」の実態および町の方向性は

「田んぼダム」について

地区	管種/長さ(km)	合計
朝日地区	ダクタイル鋳鉄管	36.0
	硬質塩化ビニール管	99.6
	ポリエチレン管	3.7
	他	2.9
宮崎地区	ダクタイル鋳鉄管	5.8
	硬質塩化ビニール管	22.7
	管種不明、他	45.3
総合計		142.2

小松 高宏 議員

一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



町の水道事業について

町長 町には1か所の上水道と3か所の簡易水道があるが各地区の配管の長さや管の材質は？

建設理事 配水管の総延長と管種

地区	管種/長さ(km)	合計
越前地区	ダクタイル鋳鉄管	32.8
	硬質塩化ビニール管	31.9
	鋼管	7.3
	ポリエチレン管	3.2
織田地区	ダクタイル鋳鉄管	14.7
	硬質塩化ビニール管	53.5
	ポリエチレン管	3.6
	管種不明、他	20.3
総合計		92.1

小松 法定耐用年数40年を経過している配水管の長さ割合は？

建設理事 配水管の長さ割合

地区	長さ(km)	割合(%)
朝日地区	89.9	63.3%
宮崎地区	46.6	63.1%
越前地区	41.4	50.3%
織田地区	28.2	30.6%
合計	206.1	52.8%

※布設年度不明も含む

小松 水道管の老朽化がもたらす影響は？

建設理事 長年の通水により鉄管等の内部への異物付着や樹脂系管についても塩素による錆や継ぎ手の金属腐食の影響により漏水の発生が懸念される。

小松 漏水が多いと有収率がさがる。有収率の全国平均は89.7%だが、令和2年度の町の有収率は71.9%である。無効水量と金額は？

建設理事 令和4年度の1年間の総配水量から有収水量を引いた水量に給水原価を乗じた金額で試算

		(万円)	(万円)
簡易水道地区	宮崎地区	33.0	7,800
	越前地区	24.6	5,600
	織田地区	14.2	3,400
合計	113.8	24,100	

小松 漏れている部分の把握が必要だが、過去10年間の点検実績と対応は？

建設理事 過去における漏水調査の実績は、平成27年〜29年の3か年で約155kmの配水管および給水管に漏水検知機による音聴調査を実施した。調査により発見した漏水についてはすべて修繕を完了しており、調査後に発見した漏水についても修繕工事を実施している。また、今年度においても、深夜の時間帯に配水量の多い地区を中心に給配水管25kmの音聴調査を実施する計画である。

小松 全国的に老朽配管の割合は増え続けているが、人口減少などにより、市町が運営する水道事業の収入が減少する。長期ビジョンにて、少しずつでも更新が必要と考えるか？

町長 本町の水道事業は、人口減少により給水収益の減少が見込まれる一方、老朽化した施設・および管路の更新や耐震化が必要になるなど事業を取り巻く環境はこれまで以上に厳しくなることが考えられる。長期ビジョンの策定については、厚生労働省が示す新水道ビジョンを踏まえ、令和4年度から越前町水道事業ビジョンの策定に着手しており令和5年度に完成予定である。今後法定耐用年数を超える配水管は増加していく見込みだが、その更新には多額の投資が必要となり、すべての水道施設を法定耐用年数どおりに更新することは困難。そのため越前町水道事業ビジョンでは、水道施設全体の資産管理を実施し、状況を把握したうえで、厚生労働省が示す実使用年数に基づく更新基準の設定例などを考慮し、現状に即した財政シミュレーションを実施するなど効率的な更新も検討していく。

町長 本町の水道事業は、人口減少により給水収益の減少が見込まれる一方、老朽化した施設・および管路の更新や耐震化が必要になるなど事業を取り巻く環境はこれまで以上に厳しくなることが考えられる。長期ビジョンの策定については、厚生労働省が示す新水道ビジョンを踏まえ、令和4年度から越前町水道事業ビジョンの策定に着手しており令和5年度に完成予定である。今後法定耐用年数を超える配水管は増加していく見込みだが、その更新には多額の投資が必要となり、すべての水道施設を法定耐用年数どおりに更新することは困難。そのため越前町水道事業ビジョンでは、水道施設全体の資産管理を実施し、状況を把握したうえで、厚生労働省が示す実使用年数に基づく更新基準の設定例などを考慮し、現状に即した財政シミュレーションを実施するなど効率的な更新も検討していく。

NHKの自慢誘致について

知名度向上に向けての自慢誘致を

木村

のど自慢は、昭和22年に放送が開始されて以来、NHKの長寿番組または看板番組であり、全国津々浦々で行われている。福井県では、今年10月に敦賀市で開催される。合併20周年記念事業において、我が町の知名度ならびに認知度向上も兼ねたイベントとして、町でののど自慢開催について、町長の所見を伺う。

町長

のど自慢をはじめとしたNHKの公開番組は、市区町村制施行記念や文化施設等の落成などを捉え、自治体からの要請をもとにNHKが計画し、自治体との共同開催により実施される。県内では令和2年度に越前市、3年度に高浜町で開催され、本年10月に敦賀市で開催される。開催にあたっては、会場の下見調査等を実施し全国で調整しながら開催が決定される。会場の条件として、座席数800席以上、控室等8部屋が同一敷地内に確保できるなどの条件がある。



木村

のど自慢について、色々な制約等があり座席数800席以上となれば、カメラホールや陶芸村文化交流会館では足りない。今後、NHKと協議しながら、ぜひともお願いしたい。また、合併20周年、町民が喜び楽しむことができる記念事業を望みたい。



一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



笠原 秀樹 議員

外出支援サービス事業は、社会福祉協議会に委託しており、公共交通機関の利用が難しい車椅子利用者や歩行困難な高齢者等で外出出来ない方などを対象に通院や買い物などの送迎をおこなう事業である。利用料金として、距離5キロまで520円、5キロ増すごとに260円が加算される。令和4年度には、社会福祉協議会に110万4千円の委託料を支出している。運転手は、現在18名の有償運転ボランティア登録があるが、活動しているのは8名でスロープまたはリフトつき車両を利用している。令和4年度の登録者は41人で利用回数159回と減少している。その要因として3日前からの予約制や原則土日、祭日の利



▲外出支援の様子

町としては、今後の他市町の状況や高齢者のニーズを参考に、また路線バスやコミュニティバス、タクシー会社との共存を図りながら、高齢者の利便性の向上と負担軽減に向けて検討していきたい。

いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



石田 和朗 議員



越前町の観光魅力アップについて

町の観光魅力アップは

越前町立図書館宮崎分館で、元福井鉄道鯖浦線の紙芝居を拝見した。鯖浦線は、織田の始発から榎津へ、そして中央でわかれた二本杉いゆる千足杉を通り、桜満開の陶の谷に到着。そこから蟬口のしだれ桜を見て佐々生を通過し西田中へやってきた。その鯖浦線に乗車し、高校へ通った。その当時の色々な思い出が、紙芝居を拝見してから沸々と湧き上がってきた。



▲宮崎地域コミュニティ運営委員会が発行している紙芝居

越前陶芸村の蕎麦屋に、魅力的な観光地へと磨き上げるために募集



▲呼鳥門

しているアンケートがあり、町を盛り上げたいとの思いから回答した。越前陶芸まつり、越前みなど大花火、あさひまつり、O・T・A・I・K O響の四大まつりのほか、朝日地区の泰澄の杜やホッケー場は多くの方が訪れ、宮崎地区の越前陶芸村公園では四季の風景が楽しめる。越前地区では海岸線の景観をいかした水仙ランドや呼鳥門、織田地区では、古き歴史の劔神社や悠久ロマンの杜、映画「おしよりん」の撮影現場となった将来聖地になるかもしれない旧萩野小学校校舎分校跡など自慢できるものがある。

北陸新幹線の開業が近づくと、我が町の観光地へ赴くための交通手段のほか、観光施策等の支援体制、観光に対する醸成を変えていく必要があるのではないかと。町長の所見を伺う。

町長

新幹線駅から町への交通手段では、令和3年度、4年度に冬期間における福井駅から町への直行バスの運行実証実験を行ったが、利用者は非常に少なく、今年度の実施は見送った。また、毎年冬期間運行している敦賀駅からの直行バスは、中京・関西方面からの旅行者に定着しつつあるものの、満足のいく乗車率には至らず、運行についてさらなる検討が必要と考えている。一方で、町観光連盟において、平成28年度から、タクシーやレンタカーの利用に、料金の一部助成を行っており、利用者も年々増加している。

今後、北陸新幹線越前だけふ駅やJR武生駅、鯖江駅からの観光周遊定額タクシー事業に越前市・鯖江市と共同で取り組んでいく。また、二次交通に関しては、引き続き観光客がより使いやすく、魅力の

ある事業となるよう検討していく。観光施策等に関する支援体制については、町観光連盟は、今年3月観光庁の「候補DMO」に登録され、3年以内に正式な「DMO」になることを目指している。町としては、観光連盟が国や県の補助制度を活用しながら、幅広い活動を行い、観光地づくりの司令塔となるよう応援していく。

観光に対する機運の醸成は、観光事業者や観光ボランティアガイドの研修などを行い、おもてなし力の向上に努めるほか、民宿・旅館の改修への支援やキャスレス決済システムの導入に対する助成を行った。昨年、今年と開催されたオープンウォータースイミング大会は、県内外の参加者から好評を得ており、今後、この大会を広くPRしながら町ならではの新たな魅力を創出していきたい。

また、今年の秋から始まるJR6社と観光事業者とともに開催する北陸デスティネーションキャンペーンにおいて、積極的に観光PRを行うなど町全体を盛り上げていきたい。

災害避難時のペット対策について

災害避難時のペット対策は

笠原

7月13日、豪雨災害で天王川地域住民に避難指示が発令され、ペットがいるため避難できないという声があつた。また、過去にペットがいるために避難せず亡くなられたとあつたが、今後町でも起こり得ることも考えられる。今後の対策について伺う。

町長

町では、現在751頭の登録された飼い犬に猫などを合わせて1,000頭を超えるペットがいると思われる。こうしたなか、心配となるのは、災害避難時のペット対策である。災害時には自らの命を守る行動を最優先することが防災上の基本だが、ペットがいることで非難を躊躇する、あるいは避難が遅れる方がいることは想定される。

町では、地域防災計画に、ペットを連れて同行避難した場合、県と協力して動物愛護および環境衛生に努める旨の記載はあるが、具体的な内容は定められていない。一方で、県は環境省が策定した「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」を推進している。近隣市町では、



越前市が独自の避難所開設、運営マニュアルにおいてペット同行避難に向けた平常時の対応や災害時の飼い主の責務や行政の対応を定めている。町においては、従来からペットの同行避難は拒んでいない。今後もペットの同行避難を受け入れていくが、飼い主には騒音や臭いへの対策、排泄物の処理のほか、避難所内でのトラブル防止に関する事など、他の避難者に対する特別な配慮が必ず求められる。平常時から、生活環境の変化に対応するためのしつけや、餌や水など避難時の持ち出し品の準備を整えるなど、飼い主としての心構えが重要であることを理解してもらふ必要がある。

町としては、本来の目的であるすべての住民の安全確保に向けて、ペットへの対応を含め避難対策に努めていく。

町の財政状況を審議しました

一般会計

収入総額
148億5,729万円

支出総額
142億2,588万円

翌年度に
繰越する額
902万円

実質収支額
6億2,239万円

9月定例会で、令和4年度の一般会計のほか、国民健康保険などの9つの特別会計、下水道などの2つの事業会計の決算状況を審議した。審議時には次のような質疑が出された。

オリーブの特産化

問 複数年の計画でオリーブの特産化に向け、植樹が進められている。今後の計画はどうなっているのか。

答 企画振興課長 チーム越前夢おこしという町民団体が地域の活性化を目指して植樹から取り組みを始め、現在、地域おこし協力隊も今後を見据え、町内事業者と商品化に向けた活動をしている。

問 植樹して終わりというわけにはいかない。町として、ある程度の支援は必要である。

チョイソコえちぜん

問 チョイソコえちぜんの利用状況のほか、バスの廃止による苦情は把握しているか。

答 企画振興課長 直近の3か月を見ると1日あたり平均で8人ほどの利用がある。登録者は310人を超え、バス廃止による苦情は無い。

サル群(猿害)への対策

問 丹南地域では複数のサルの群れが確認されている。県では「サルどこネット」として、インターネットでサルの現在地を確認できるシステムを運用しているが、防災行政無線でその情報を発信できないか。また、威嚇用のエアガンやロケット花火への助成制度を検討できないか。

答 産業理事 サルによる農作物への被害は少ないが、人に対して危害を加えることもあり非常に危険だと認識している。防災行政無線による位置情報の発信は運用方法なども含め今後検討する。なお、威嚇用のロケット花火は町で購入し、必要な区に提供している。

移住・定住に向けた取り組み

問 若者移住促進委員、移住定住支援員とあるが、その活動状況はどうであったか。

答 定住促進課長 若者移住促進委員は、若者移住促進PT「ココクル」であり、マルシェでの特産品の販売や農作業体験など地域の魅力を発信している。移住定住支援員は、空き家の掘り出し、案内、移住相談活動を行っている。

水道に関する将来計画

問 本町では1日あたりどれくらい

消防団の不足と防災士活動

問 全国的に消防団に入団する人が少なくなっているが本町の現在の団員数はどれくらいか。また、本町の防災士組織の活動状況を聞きたい。

答 防災安全課長 令和4年度の団員数は324人で減少傾向にある。団員による勧誘や区長などへの依頼により入団者を確保している。また、防災士組織として「越前町防災士エキスパートえちぜん(BEE)」を立ち上げ、年3回程度の研修を行っている。

問 防災士組織が町民に広く認知されるよう活動計画を検討してほしい。

空き家にかかる固定資産税

問 固定資産税の滞納で、すでに空き家となっているケースがあると思うが、その対応はどうしているのか。

答 税務課長 所有者が死亡した場合に相続人に課税される。しかし、相続人不明や相続を放棄されると徴収できなくなり、不納欠損となる場合もある。

新型コロナワクチン接種

問 令和4年度までは新型コロナワクチンの接種事業があったが、今後の対応はどうなっているのか。

答 建設理事 下水道と簡易水道合わせて約1万5000トンを提供している。そのうち県水から1日1800トンほどを受水している。将来的な見込みは現在作成中である水道ビジョンに盛り込んでいく。

不登校児童・生徒への対応

問 不登校の生徒に対して、どういった支援をとっているのか。最近では家庭の事情も要因になっていると聞くが、そうしたケースではどう対応しているのか。

答 教育委員会事務局長 少しずつでも登校できるよう相談室への登校やはばたき教室での支援のほか、スクールソーシャルワーカーを派遣し、個別相談を行っている。

答 教育長 不登校の主な要因であった、いじめや友人関係のもつれなどは減ってきており、代わりにネグレクトや貧困といった家庭内の事情により不登校となるケースがある。教育委員会だけでなく児童部局や児童相談所、警察などと連携した対策を進めている。子どもの生命を守るため、学校を中心に関係機関が一体となって取り組んでいく。

答 健康保険課長 追加接種となる方全員を対象に重症化・感染予防のため、秋から新型コロナワクチン接種を始める。9月20日から接種券を順次発送し、医療機関での個別接種で対応していく。

織田病院の未収金対策

問 織田病院での医業未収金について、その件数や回収方法などはどうなっているのか。

答 民生理事 令和4年度末で419件、約218万円の未収金がある。そのうち未収金のまま3年以上経過したものは50件で約90万円になる。回収に向けて病院から毎月請求書を送っており、長期化した場合は弁護士に対応を依頼している。

越前かにバスの効果

問 令和3・4年度に「越前かにバス」を福井駅から越前海岸まで運行したがその効果は限定的だったと思う。北陸新幹線の開業を控え、どう考えているか。

答 産業理事 利用者が少なかったため、令和5年度の運行は見送りとした。敦賀駅から直行バスは運行するが、その他についてはどういう運行がベストかを関係機関と協議し、検討を進めていく。

9月定例会に提出された議案等

議案番号	件名	議決の結果
認定第1号	令和4年度越前町一般会計歳入歳出決算認定について	全会一致認定
認定第2号	令和4年度越前町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第3号	令和4年度越前町介護保険事業特別会計(保険事業勘定・介護サービス事業勘定)歳入歳出決算認定について	//
認定第4号	令和4年度越前町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第5号	令和4年度越前町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第6号	令和4年度越前町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第7号	令和4年度越前町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第8号	令和4年度越前町温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第9号	令和4年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第10号	令和4年度越前町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第11号	令和4年度越前町水道事業会計決算認定について	//
認定第12号	令和4年度越前町国民健康保険病院事業会計決算認定について	//

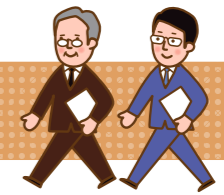
議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

6月13日～9月15日

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退

月日	曜日	会 合 名	佐々木 議長	藤野 副議長	小松 議員	吉田 議員	石田 議員	長谷川 議員	中西 議員	高田 議員	米沢 議員	伊部 議員	笠原 議員	木村 議員	北島 議員
6	30	金 町議会広報研修会	-	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	○	-
	3	月 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	金 議会広報特別委員会	-	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	○	-
7	18	火 議会広報特別委員会	-	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	△	-
		火 議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	27	木 議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	×	×	-	○	○
	2	水 県選出国会議員要望活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	月 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
		月 総務文教厚生常任委員会	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	○
	17	木 鯖江広域衛生施設組合議会全員協議会・定例会	-	○	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-
8	18	金 町議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×
	21	月 公立丹南病院組合議会全員協議会・定例会	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	○	-	-
	23	水 県丹南広域組合議会全員協議会・定例会	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○
	24	木 議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	○	○
	28	月 鯖江・丹生消防組合議会全員協議会・定例会	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-
	4	月 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	水 9月定例会 本会議(1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	7	木 9月定例会 本会議(2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	金 9月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	11	月 9月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	火 9月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13	水 9月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	木 9月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
		木 議会広報特別委員会	-	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	○	-
	15	金 9月定例会 本会議(3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9月議会定例会 現場踏査 (9月8日)



農業用施設現年発生災害復旧工事 (平等地係)



町道広野線道路災害復旧工事 (広野地係)

県選出国会議員への要望活動 (8月2日)



町では、「人と技 海土里織りなす 快適なまち」の実現を目指し、福祉・教育などあらゆる分野において、町の特色を活かした施策を展開しています。また、人口減少時代における「ふるさと越前町」の創生を目指し、「人にやさしく 地域にやさしい まちづくり」に向けて取り組んでいます。しかし、厳しい財政状況の中で解決していかなければならない課題が多くあります。そこで、8月2日、町長および町議会議員一同が上京し、本県選出国会議員へ、財政支援や教育支援など7事業についての要望書を直接提出しました。

町村議会広報研修会参加 (9月27日)

議会に対する住民の理解と関心を深めるために、議会広報の必要性が求められていることから、議会広報担当者を対象とした研修会に参加しました。

今後さらに「住民に読まれ、伝わる議会広報誌」を目指します。



表紙の写真 5月に植えた苗が大きくなり、先日みんなで刈り体験をしました。最初は少し手伝ってもらいながら刈り、2回目からは鎌を持って一人でチャレンジ！刈った稲を持つと「やったあ！」「取れた！」「おっきい！」と嬉しそうに見せていました。

表紙の写真 陶の谷保育所(寺)

下段写真 散歩に出かけ、秋の自然探しをしました。拾った葉っぱを友だちと見比べて、「この葉っぱでっかい！」「きれいな模様！」「赤ちゃん葉っぱあった！」色々な大きさや形、色があることに気付いたようです。それぞれ素敵な宝物を見つけましたよ。

全国町村議会 議長会から 感謝状贈呈

令和3年6月1日から令和5年5月31日までの2年間、中日本・北信越・県町村議会議長会の会長を務められた功績をたたえ、全国町村議会議長会から笠原秀樹議員に感謝状が贈呈されました。会長職のご功績に対し敬意を表します。



がんばって ます!

松寿会グランドゴルフ協会

Interview activities

皆さんのご紹介を
お願いします

私たち「松寿会グランドゴルフ協会」は健康増進や親睦を図るため、平成15年に結成し、現在、男性11名、女性12名の73歳から91歳までの会員で活動しています。

活動内容について
教えてください

毎週、火曜日と金曜日に、陶芸村グランド(雨天時花みずき炎ぼの館)で、仲間づくり、親睦・友愛・健康増進を図りながら練習しています。参加者同士で技の意見交換を



したり、話し合いながら技術の向上を図っています。町内大会をはじめ、町外大会にも積極的に参加しています。各種大会に出場し、少しでも良い成績を残せるよう頑張っています。

最後に一言お願いします

元気で練習に参加できることに感謝し、色々な話題に花を咲かせ、有意義なひと時を楽しく過ごしたいです。(インタビュー 小松)

お問い合わせ

前田 喜美男

0778-3212392

傍聴席へどうぞ 次の定例会は12月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください) TEL.0778-34-8712

編集
後記

実りの秋、芸術の秋、スポーツの秋。山々もどんどんと紅くそまり秋を感じます。11月といえば、越前がに漁の解禁で、港から一斉に漁船が出港します。町内が活気づいてきます。

9月末に広報委員として、東京で開催された町村議会広報研修会に参加しました。より多くの町民の方に議会や町政に少しでも関心を持っていただき、読みやすい、伝わる「議会だより」の企画・編集に取り組んでいきます。

(中西)

議会広報特別委員会

委員長 長谷川 眞 恵

副委員長 中西 清

委員 木村 繁

米沢 康 彦

藤野 菊 信

高田 浩 樹

小松 高 宏

町ホームページ
議会QRコード



(スマートフォン用)

バックナンバーは町のホームページでご覧いただけます

<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>

町公式動画チャンネル
QRコード



(スマートフォン用)

町LINE
QRコード



(スマートフォン用)

町ホームページ
QRコード



(スマートフォン用)

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です